

茨城県内には、現在約1,200か所の城館跡が確認されています。かすみがうら市内にも44か所の城館跡がありますが、人知れず木々の中にひっそりと残されているものがほとんどで、地域の歴史資源にも関わらず見過ごされています。この埋もれた歴史資源に光を当てるものが御城印です。一般的に御城印には、登城したお城の名称だけでなく、歴代城主の家紋や花押（かおう）、発行元の角印などが押されています。複数の家紋が配されたり、武将やお城のシルエットがデザインされているものもあり、個性豊かです。御城印は、復原整備され観光地化されたお城のみならず、全国各地の城館跡を巡った証として見返すことができ、帰宅された後も、お城の歴史や城主に想いを馳せることができるものです。今後も、ブームにのり城館跡巡りを行う人たちは増加し、城館跡は地域活性化の重要な資源となることとされます。御城印・御城印帳は、その火付け役となるすばらしいアイテムです。

歴史博物館では、戦国時代に常陸国南部に勢力を張った小田城（つくば市小田）の「小田氏」の重臣として活躍した菅谷氏の「宍倉城」、「戸崎城」の御城印を作成しました。1枚300円で販売しておりますが、好評を博しています。

さらに歴史博物館では、集めた御城印を収納するための歴史博物館特製の御城印帳を作成しました。高級感あふれる金押しでのデザインで、表紙には当館のシルエットと共に、当市を代表する武将の本堂家の家紋（笹竜胆と八石畳）をモノグラム調に施しています。裏表紙には、歴史博物館のロゴと共に、かすみがうら市の風物詩である帆引き船をデザイン化しています。是非皆さんも歴史博物館御城印帳を持って、全国各地の城巡りを実施してみたいはいかがでしょうか？

歴史博物館で販売している御城印：「宍倉城」、「戸崎城」各1枚300円
特製御城印帳：1部2,000円